

トランコムDS

領域拡大へ新規事業開発を活性化

名古屋で宅配収納サービスも開始

トランコムDS(本社・名古屋市東区、松葉純也社長)は、基盤事業である生協事業の構造改革を進めるとともに、新ビジネスの開拓などで事業領域の拡大を図る。新規事業開発に向けては、7月21日付で専任の「営業開発グループ」を新設。これに先駆けて、今年3月にはエアトランク社と提携した宅配収納サービスを名古屋市全域で開始するなど、事業展開を活性化させている。

た、配送車両の開発にも着手し、ドライバーの立場に立った作業性や負荷軽減につながる設計、客貨混載など複合的なサービスに対応できる車両を研究していく。さらに、スタッフの力の最大化を目的にICTも積極的に活用。サービス開発やエリア拡大に当たっては他社との連携も視野に入れる。

新規事業の開発に向けては、トランコムグループ全体の事業方針でもある「はこぶ」仕組みの構築を目指す中で唯一のラストワンマイルを担う部門として、トランコムDS内に「営業開発グループ」を新設。主に既存サービスを活かした商品開発を担当。たとえば、都市部と地方がそれぞれ抱える課題へのソリューションや、生協のサービスメニューとして提供できるビジネスなどを検討していく。既にスタートしている宅配収納サービスは、エアトランク社が提供する同名のサービスを名古屋市で展開。生協事業で配達ノウハウを培った専属のドライバーが収納の知

識も習得し、利用者へのアドバイスなども行いながら収納荷物の受け取りと配達を担当する。

ビジョンブックを作成し、全社員へ配布

中期的に掲げるビジョンと事業戦略を社内外へわかりやすく伝えるツールとして、「ビジョンブック」も作成して全社員へ配布。今年9月にはWebサイトを刷新し、女性を前面に押し出した内容へ改めるとともに、制服もよりスタイリッシュで動きやすいデザインへとリニューアルする。松葉社長は「前期までの3カ年で中期的な戦略の土台となる。人材が定着する仕組みが構築でき、人と仕事を増やせる体制となった。トランコムグループで唯一BtoCのデリバリー機能を持つ会社として、様々なビジネスの可能性を探っていきたい」と意欲を示す。

同社では中期的なスローガンを「DS WAY」に据え、事に笑顔を描く。」に据え、事業領域も、あくまで生活エリアにこだわったものと設定。その上で、生協宅配をベースとした事業展開を進め、構造改革や共創事業化、拠点開発などの改善と拡張により各生協との接点を増やすとともに、ラストワンマイルを包括できる配送システムの構築や、生協事業で培った営業・接遇力の優位性を軸としたサービス開発などに取り組み。

具体的な成長戦略として、人材面では女性をはじめとする多様な雇用を進め、厚みのある人材基盤としながら、新たな階層や職種の増設や独立支援制度などの充実で構造改革を図る。ま



ビジョンブック(手前)で周知

「ダイヤモンド・オンライン」で

経営 物流 を 検索

カーゴニュースとのコラボ企画絶賛稼働中!!